

家読の すすめ

家読（うちどく）とは…

- 家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組です。
- 決まったルールやスタイルはありません。

次の例を参考に、家庭の読書習慣を考えてみませんか

□家族で読書する時間を

寝る前、夕食後、休みの日の朝食後など、時間や曜日を決め、テレビやスマートフォン等を使ったゲームなどから離れて、家族全員で読書をする時間を設けてみてはいかがでしょうか。



□本でコミュニケーションを

お子さんが本を読み始めたら、まずはほめてあげましょう。

また、読んだ本について、「〇〇のところが面白かったよ」「そうなの。私も後で読んでみようかな」などと話題を投げかけてみると、話がはずむでしょう。

□本に親しむ雰囲気づくりを

親が読書をする姿や、家族が集まる部屋に親の読みかけの本が置いてある風景をお子さんが目にするうちに、自然と読書に親しむようになっていっています。

各家庭で、読書を楽しむ雰囲気をつくってみませんか。



□家族で図書館（室）や書店へ

多くの図書館や公民館では、決まった曜日に「おはなし会」を行っています。ホームページや市町村広報紙でスケジュールを確かめて、参加してみませんか。

また、本選びについて図書館やお店の人に相談すると、いつもとは違った種類の本に出会えるかもしれませんね。

□読み聞かせや実体験を

小さいお子さんには、ぜひ、読み聞かせをしてあげましょう。

また、工作や料理の本などを親子で一緒に読んで実際に作ってみたり、動物が出てくる本を読んで動物園に行ったりするなどの体験をすると、読書への興味・関心も高まります。

□読書の記録を

読んだ本のタイトルや読んだ日などを記録しておくことで、もう一度読みたくなったときや、お子さんの成長を振り返るときに役に立ちます。

市町村立図書館等では、「読書通帳」などを配布しているところも多いので、活用するのもよいでしょう。



道教委の 取組

北海道で活躍されている方々による「おすすめの1冊」

道教委では、子どもの読書への興味・関心を高めるため、道内で文化・スポーツ関係等で活躍している方がお薦めする本を毎月、「みんなで」という広報紙で紹介しています。ぜひ一度御覧いただき、本選びの参考にしてはいかがでしょうか？

シリーズ 北海道で活躍されている方々による「おすすめの1冊」 ★51冊目★留萌管内★

「うめいいのたんじょうび」 かがくいのち 著/編集

「うめいい」は、梅干しです。お風呂には、あさつきやきゅうり、たくあん、らっきょうなど日本の伝統食のつづきもがでてきます。インパクトのある表紙と絵のかわいらしさから、小学校での読み聞かせでも子どもたちを引きつけ、大人気です。
タイトルは「うめいいのたんじょうび」ですが、さて、うめいいってなに？
「たろまんが」でおなじみの、かがくいのちさんの隠微の作品です。皆さんぜひ読んでみてください。



※本を紹介していた方々

- 梅原 清 著 氏（留萌管内在住）
- ・留萌市の絵本読み聞かせサークル「あざらしおはなし会」会長
- ・毎月、第2土曜日に留萌市中央公民館図書室で「おはなし会」を開催
- ・小学校の副読本、グループホームでの読書講座や手遊びなどの活動を実施
- ・「あざらしおはなし会」は読書推進運動協会による平成28年度優良読書グループ全国表彰を受賞